

令和6年度 進路だより

わくわくワーク 第2号

令和6年7月19日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

6月には、高等部の就業体験があり、2年生と3年生は事業所で実際に作業をしたり、他の利用者の方と関わったりしました。進路選択では、事業所の雰囲気や求められることがお子さんに合っているかがとても大切です。

時々、福祉事業所の方とお話をする機会がありますが、「小さいころから進路選択の準備を始めるとよい」とよく言われます。小学部・中学部の保護者の皆さんには「まだ先のこと」と思われるかもしれませんが、事業所の情報を得たり、学校や家庭、デイサービスなどでの様子を共有したりして、進路選択の準備をしていきたいと思えます。

今年度も、7月25日に「障害福祉サービス事業所合同説明会」を行います。事業所ごとのブースを回って、事業所の方から直接お話を聞くことができる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

時間はたくさんあるようでいてあっという間に卒業を迎えます。学校は、進路選択の助けができるよう、取り組んで参ります。保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
(教頭 井内千絵)

第1回高等部就業体験（6月12日～25日）

就業体験は、進路を考える上で非常に大切な学習活動です。生徒は、一人一人が目標をもって就業体験に取り組み、それぞれの自立と社会参加に向けて、ステップアップすることができました。

<校内就業体験>

1年生

<作業内容> 通常の作業班での作業

<体験の様子> 作業が続くことで疲れを見せる生徒もいましたが、休憩時間にリフレッシュしながら、2週間作業を頑張っていました。

作業を続けて行うことで、新しい仕事にチャレンジしたり、前はできなかったことができるようになった生徒もいました。この経験を今後の学習や来年度の校外就業体験に生かせるようにしていきたいと思えます。



<校外就業体験>

富山市生活介護事業所第2あすなろ（生活介護事業所）



<作業内容> 紙ちぎり、インク並べ

<体験の様子> 紙ちぎりでは、材料の紙を何度もちぎって少しずつ小さくしていき、7mm程度のサイズにしました。

作業以外にも、他の利用者さんと一緒にウォーキングや足湯を楽しむなど、余暇につながる活動も体験しました。

障害者就労継続支援 B 型事業所ころみ（就労継続支援 B 型事業所）



＜作業内容＞金属部品のばらし作業
＜体験の様子＞金属部品に付いている不要な部分を折り取って、部品と分ける作業をしました。取り残しのないよう丁寧に、手早く行いました。たくさんの部品がありましたが、長時間集中して手を止めずに行いました。

就労継続支援 A 型事業所清琉（就労継続支援 A 型事業所）



＜作業内容＞フィルムはがし
＜体験の様子＞サプリメントの箱を包んでいるフィルムに、はさみを使って切れ目を入れ、はがす作業をしました。製品にほこりや髪の毛が付かないように、キャップ、長袖長ズボンの作業服を身に付け、衛生面に気を付けて作業に取り組みました。はさみで箱を傷つけないよう、道具の扱い方を工夫して丁寧に作業を行いました。

就業体験を終えて

事業所の方に記入していただいた評価表の内容を一部紹介します。

- 自分から進んで挨拶をし、作業中に分からないことなどしっかりと聞くことができていました。
- 作業に興味関心をもち、積極的に取り組めていました。
- 規則正しい生活を送ることを心掛けてください。
- 一人でできることを増やし(休憩時間の過ごし方など)、支援が必要な時に伝えられるようになってほしいです。
- いろんなことを経験する機会を作って、成功体験を積んで自信につなげてほしいです。



就業体験を通して卒業後に求められる姿を知り、学校と家庭で連携して支援していきたいと思います。

高等部進路説明会（4月26日）

高等部2年生の保護者対象の進路説明会を行いました。

説明会では、卒業後の進路先に関する情報や高等部卒業までの進路支援の流れについて説明をしました。また、就業体験の様子を記録した映像の視聴や就業体験を実施するにあたっての確認事項について説明し、保護者の皆様には、事業所の情報収集や見学等をお願いしました。説明会終了後には、「分からなかったことが分かった。」「校外就業体験の様子や、これから必要なことが分かった。」などのご意見や感想をいただきました。

